

試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

2026年度 大学入学試験問題 一般選抜Ⅰ期

国 語 (100 点) (60 分)

注意事項

1. 選択式問題用の解答用紙(マークシート)には解答欄以外に次の記入欄があるので、監督者の指示に従って、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
①氏名欄：氏名・フリガナを記入しなさい。
②空欄：「年月日欄」の右横の空欄に「国語」と記入しなさい。
③番号欄：受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
2. 記述式問題用の解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を記入しなさい。
3. この冊子は、問題が26ページあります。
4. 試験中に印刷の不鮮明、落丁・乱丁あるいは解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
5. 受験番号が正しくマークされていない場合、採点できないことがあります。
6. 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。たとえば、

10

 と表示のある問いに対して 3 と解答する場合は、(例)のようにマークしなさい。

(例)

解答 番号	解 答 記 入 欄
10	① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

□ ① 次の問に答えなさい。

問一 次の言葉の類義語を、それぞれ1から4の中から選びなさい。解答番号は、①は

3

1

②は

③は

① 示唆 1 明示 2 暗示 3 教示 4 鼓舞

② 透徹 1 洗練 2 感興 3 明瞭 4 丹念

③ 糾弾 1 抵抗 2 制御 3 懸隔 4 弾劾

問二 次の言葉の対義語を、それぞれ1から4の中から選びなさい。解答番号は、①は

6

4

②は

③は

① 決裂 1 解決 2 実行 3 対立 4 制圧

② 懐柔 1 圧倒 2 卑下 3 威圧 4 硬直

③ 極端 1 異端 2 正統 3 汎用 4 中庸

問三 次の語の空欄に、それぞれ1から4の中から最も適当な漢字を選んで補い、四字熟語を完成させなさい。解答番号は、①は

7、②は 8、③は 9、④は 10

- | | | | | | | | | | | |
|---|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | 異 | 同音 | 1 | 人 | 2 | 口 | 3 | 端 | 4 | 音 |
| ② | 人 | 未踏 | 1 | 身 | 2 | 足 | 3 | 跡 | 4 | 獣 |
| ③ | 風光 | 媚 | 1 | 明 | 2 | 水 | 3 | 空 | 4 | 賛 |
| ④ | 大 | 晚成 | 1 | 機 | 2 | 氣 | 3 | 器 | 4 | 規 |

問四 次の空欄に、それぞれ1から4の中から語を選んで補い、慣用句を完成させなさい。解答番号は、①は 11、②は

12、③は 13、④は 14

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|
| ① | 頭角を | 1 | 示す | 2 | 得る | 3 | 現す | 4 | 討つ |
| ② | 竹の勢い | 1 | 破 | 2 | 青 | 3 | 爆 | 4 | 散 |
| ③ | 浮かぶ | 1 | 暇 | 2 | 跡 | 3 | 顔 | 4 | 瀬 |
| ④ | 無い袖は | 1 | 着れぬ | 2 | 振れぬ | 3 | 通せぬ | 4 | 折らぬ |

問五 次のことわざ・故事成語の意味を、それぞれ1から4の中から選びなさい。解答番号は、①は 15、②は 16、

③は 17、④は 18

① 馬子^{まご}にも衣装

- 1 容姿の優れた人はどのような衣装であっても似合うということ。
- 2 どのような人間でも身なりを整えれば立派に見えるということ。
- 3 自分の子や孫はどのような格好をしても愛^{いと}しいということ。
- 4 どのような衣装であってもそれを着る人次第であるということ。

② 去^さる者は日々に疎^{うと}し

- 1 細やかな人情の機微に疎い人は、周りから人が去っていくということ。
- 2 日々過ぎ去っていく日常が貴重なものであることに人は気づかないということ。
- 3 刻々と過ぎていく日々の時間を大切にできない者は、気づかない内に、好機を逃しているということ。
- 4 親しかった者でも、顔を合わせなくなると、時間が経^たつにつれて疎遠になっていくということ。

③ 紺屋^{こじや}の白袴^{しろはかま}

- 1 他人のことにばかり忙しくて、自分自身のことには手が回らないことのたとえ。
- 2 自分に適性のないことにばかり取り組んで、成果を得られないことのたとえ。
- 3 他人の持ち物や能力は、実際以上によく見えるということのたとえ。
- 4 自己評価と他者からの評価が著しく異なっていることのたとえ。

④ 後生^{おそ}畏るべし

- 1 若い人はさまざまな可能性を秘めているので、侮るべきでないということ。
- 2 未来のことについては、常に最悪の事態を想定するべきであるということ。
- 3 将来のことはわからないため、慎重に備えるべきであるということ。
- 4 先駆者よりもその後続く人の方が大成しやすいということ。

□ ③ 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

本文削除

(佐藤健太郎『ゼロリスク社会』の畧 「怖い」が判断を狂わせる『)

問一 傍線①「厄介な概念」とあるが、たとえばどのようなことが「厄介」なのか。その説明として最も適当なものを次の1から5の中から選びなさい。 解答番号は 19

- 1 リスクは時間の経過とともに高まるが、表面的には高まっていらないように見えることが多々あるため、扱いが難しいこと。
- 2 リスクを一定に保つだけでも多くの労力やコストがかかり、リスクを下げるとなると膨大なコストと労力がかかること。
- 3 リスクを下げるためにエネルギーや労力を投じて、かえってリスクを増やすことになってしまう場合が多いこと。
- 4 小さなリスクが積み重なると重大な問題になるため、大きなリスクだけでなく、小さなリスクにも対処せざるを得ないこと。
- 5 リスクは自然に拡大する性質があり、放置すれば高まる一方であるため、継続的な管理と労力が必要で扱いが難しいこと。

問二 傍線アからオの漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の1から5の中から選びなさい。解答番号は、アは

イは 21、ウは 22、エは 23、オは 24

ア 「ハンシヨク」

- 1 河川がハンランする
- 2 インターネットでハンバイする
- 3 いくつかのハンに分かれる
- 4 帝国のハンエイ
- 5 ハンザツな手続き

イ 「フシヨウジ」

- 1 友人をシヨウカイする
- 2 シヨウサイを伝える
- 3 キッシヨウの前兆
- 4 シヨウバイを営む
- 5 シヨウキンを獲得する

ウ 「ケツコン」

- 1 コンシンカイに参加する
- 2 カンコンソウサイのマナー
- 3 コンセキをたどる
- 4 コンダテを考える
- 5 荒野をカイコンする

エ 「カンビ」

- 1 カンゲンで人をだます
- 2 演劇をカンショウする
- 3 センカンが大破する
- 4 部活動のカンユウ
- 5 病気がカンカイする

オ 「コクチ」

- 1 コクエンが上がる
- 2 苦手科目をコクフクする
- 3 コクモツの収穫
- 4 顔がコクジしている
- 5 不正をコクハツする

問三 傍線②「こうしたリスク削減をいくら続けても、リスクというものは決してゼロにはなりません」とあるが、なぜそのように

言えるのか。その理由を四十字以上、五十字以内で説明しなさい。ただし、句読点や記号も一字と数える。解答は記述用解答用紙に記入すること。

問四

A から E に入る言葉をそれぞれ1から5の中から選びなさい（ただし、同じ記号は一度しか使えない）。
 解答番号は、Aは 25、Bは 26、Cは 27、Dは 28、Eは 29

- 1 むしろ 2 しかし 3 では 4 そして 5 そのため

問五 傍線③「災害」とあるが、一九二三年に発生した関東大震災の様子は、当時の作家たちによって様々に書き留められている。

その記録の一つに田山花袋『東京震災記』があるが、その田山花袋の作品を、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

30

- 1 『蒲団』
 2 『金閣寺』
 3 『あめりか物語』
 4 『或る女』
 5 『虞美人草』

問六 次の一文は、本文中の〈1〉〈5〉のどこに入るのが最も適当か。次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

31

この「リスクをきちんと測る」という当たり前のことが行なわれていないがために、無駄な騒動がたびたび起こり、犯人探しが行なわれ、再発防止策が立てられ、以降、膨大なコストがそこに投じられることになります。

- 1 〈1〉 2 〈2〉 3 〈3〉 4 〈4〉 5 〈5〉

問七

X

に入る言葉として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。 解答番号は

32

- 1 青天井のように
- 2 陰日向のように
- 3 蜃気楼しんきろうのように
- 4 袋小路のように
- 5 天邪鬼あまのじやへんのように

問八

傍線④「レインマンの畏」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1から5の中から選び

なさい。 解答番号は

33

- 1 失敗することを恐れて新しいことに挑戦しないために成長の機会が得られず、大きなリスクを抱えてしまうということ。
- 2 小さなリスクを徹底的に回避することで大きなリスクを事前に回避することができる、勘違いしてしまうということ。
- 3 ゼロリスクを求めるあまり、認識できるリスクを執拗しつように回避することで、逆に大きなリスクを抱えてしまうということ。
- 4 過去の失敗のせいで一切の失敗を許せなくなってしまったがために、少しのリスクであっても許容できないということ。
- 5 リスクの大小を判断できないがために、リスクの比較ができず、全てのリスクを徹底的に回避しようとするということ。

問九

Y

に入る言葉として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。 解答番号は

34

- 1 コンプライアンス
- 2 イデオロギー
- 3 ヒエラルキー
- 4 シミュレーション
- 5 フィードバック

問十 傍線⑤『定性分析』と『定量分析』とあるが、これについて筆者はどのように考えているか。その説明として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 35

- 1 定性的な判断には、観測者の主観が含まれるためリスクの計量に適しておらず、定量分析だけが唯一有効な方法である。
- 2 数値で表す定量分析は現実と乖離^{かいり}する危険があるため、絶えず変化する現実を捉えるには、定性的な判断が適している。
- 3 定性的な判断だけで十分なリスク対応が可能であるため、高い技術と知識を要する定量分析をわざわざ用いる必要はない。
- 4 リスク判断において、定性的な判断しかなされないために過剰なコストがかかっており、定量的な判断が必要である。
- 5 定量分析は非常に正確で誤差がなく、リスクを有効に回避できる手段であるが、高い技術と知識が導入の壁となっている。

問十一 本文の内容と一致するものを、次の1から5の中から選びなさい。 解答番号は

36

- 1 ゼロリスクの実現は不可能であるが、努力目標として企業がゼロリスクを追求することが、結果として社会全体のリスクを下げることになる。
- 2 企業の資金が多ければリスクを回避できる可能性が高くなるが、企業の経済力の差が各社の抱えるリスクの差につながる現状は望ましくない。
- 3 人の一生は選択の連続であるため、いかにして低リスクの選択をし続けられるかということが幸福な人生を送れるかどうかを決定する。
- 4 リスクに対する定量的な分析と定性的な分析を組み合わせることで、コストを削減することができると、リスクをゼロにすることもできる。
- 5 ゼロリスクの実現は原理的に困難であるが、その点を踏まえたとしても、現状のリスク対策は無用なコストを費やしていると言わざるを得ない。

Ⅲ 次の文章を読んで、あとの問に答えなさい。

本文削除

(米山優『つながりの哲学的思考——自分の頭で考えるためのレッスン』)

問一

A

から

E

に入る言葉をそれぞれ1から5の中から選びなさい(ただし、同じ記号は一度しか使えない)。

解答番号は、Aは

37

、Bは

38

、Cは

39

、Dは

40

、Eは

41

1 すなわち

2 確かに

3 では

4 たとえば

5 しかし

問二

X

に入る語句として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

42

1 対症療法的

2 百科全書的

3 権威主義的

4 自己反復的

5 近視眼的

問三 傍線アからオの漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の1から5の中から選びなさい。解答番号は、アは

イは 44、ウは 45、エは 46、オは 47

ア 「カンケツ」

- 1 避難をカンコクする
- 2 カンイな包装
- 3 囚人をカンシする
- 4 利益を社会にカンゲンする
- 5 国家カンリヨウとしての使命

イ 「ジュンスイ」

- 1 ジュントウな結果
- 2 ジュンジョウな心
- 3 敷地内をジュンカイする
- 4 職務中にジュンシヨクする
- 5 法令をジュンシュする

ウ 「ジュリツ」

- 1 願いがジョウジュする
- 2 ジュヨウが伸びる
- 3 ジュモクの伐採
- 4 ジュキョウ的な道徳
- 5 チョウジュを全うする

エ 「セイフク」

- 1 はるばるエンセイする
- 2 イッセイに走り出す
- 3 セイジャクな空間
- 4 教室のセイソウ
- 5 カンセイが上がる

オ 「ホウケン」

- 1 ピアノのケンバン
- 2 ケンジツな性格
- 3 セイリヨクケンを拡大する
- 4 高層ビルのケンセツ
- 5 調査チームをハケンする

問四 次の一文は、本文中の〈1〉～〈5〉のどこに入るのが最も適当か。次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

48

要は、〈何のための科学が〉と問う「人類」という存在を認めようということです。

- 1 〈1〉
- 2 〈2〉
- 3 〈3〉
- 4 〈4〉
- 5 〈5〉

問五 傍線①「客観的方法が主観的方法に道を譲る」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 49

- 1 社会的な要請により、科学的知見の再現性を重視した方法から、個人が感じ取る感覚を重視する方法に変更されるということ。
- 2 科学的法則の体系化を、諸事物という観点すなわち客観的な観点から行うのではなく、人類の利益に照らして行うということ。
- 3 科学が発展し、客観的なデータが蓄積されていくにつれて、実証的な方法で科学的法則を体系化するようになるということ。
- 4 科学的な知識が信頼を失うにつれて、個人の直感や信仰に基づく主観的な方法に切り替わっていくようになるということ。
- 5 科学的手法では明確な答えがない問いに柔軟に対応できないため、主観的なアプローチで取り組むようになるということ。

問六 傍線②「それに代わる次の動きはすでに始まっていました」とあるが、それはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は 50

- 1 理論と実践の分業によって精神的権力と世俗的権力の関係が逆転し、理性や実験に基づく近代的知性へ移行したということ。
- 2 実証科学や自由都市の解放によって、精神的権力と世俗的権力が分離したことに伴い、各専門分野の独立が進んだということ。
- 3 理論的権威の優越によって民衆が科学を拒絶し、神学や形而上学への回帰を目指す反科学運動が社会を席巻したということ。
- 4 理論的権威が実践的権威に相対する事態が出現したが、その裏では実証的な知性への移行が徐々に進んでいたということ。
- 5 宗教的権威から完全に独立して世俗的権威を確立し、万人の利益より個人の自由と創造性を重視するようになったということ。

問七 傍線③「科学的分業は確かに重要です」とあるが、筆者はどのような目的でこのように述べるのか。その説明として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。 解答番号は 51

- 1 科学者が自分の専門領域でしか研究を進められないとしても、そのような科学的分業が学問や科学技術の発展に必要であるという自説を強調するため。
- 2 個々の研究者が人類全体にとつての意味や責任を見失ってしまったために、分業が廃止され科学技術の発展が停滞し、人々の幸福が保障されなくなったことを述べるため。
- 3 分業が科学を進展させてきたのは事実だが、一方で研究者の人格を問題にしてこなかったために、自らの専門領域ばかりを研究する科学者が増えたことを指摘するため。
- 4 主観的な方法に基づく分業が、救いようもなく無能な科学者を生み出してしまった結果、日本の科学技術は世界から遅れをとっていることについての認識を促すため。
- 5 科学的分業が学問研究の成立と発展に不可欠であることは認めつつも、研究者が自分の専門分野に閉じこもり、他分野とのつながりを見失っていることに警鐘を鳴らすため。

問八

Y

に入る言葉として最も適当なものを、次の1から5の中から選びなさい。 解答番号は 52

- 1 俯瞰 ふかん
- 2 諦観
- 3 分別
- 4 造詣 ぞうぎ
- 5 意匠

問九 傍線④「道徳的見地から見て分業に疑問を呈します」とあるが、それはどのような疑問か。四十字以上、五十字以内で説明しなさい。ただし、句読点や記号も一字と数える。解答は記述式解答用紙に記入すること。

問十 本文の内容と一致するものを、次の1から5の中から選びなさい。解答番号は

53

- 1 コントは、様々な学問領域における専門分化が進めば科学者の責任感も高まり、社会とのつながりをより深く理解するようになると考えた。
- 2 筆者は、これまでの客観的で実証的な学問研究を捨て去り、主観的で感覚的な学問研究を推し進めて人類の幸福を追求すべきと考えている。
- 3 コントは、実証科学における客観的な立場から考察こそが学問の根幹であり、それが揺らぐことは科学の終焉しゅうえんを意味すると考えた。
- 4 筆者は、実証性を重視するコントの立場を批判的に捉え、研究者たちは人類の利益という観点から、学問に取り組むべきだと考えている。
- 5 筆者は、細分化されて広い視野を失った科学研究を道徳的な観点から危険視し、人類のためになされる科学が必要だと考えている。

〔設問以上〕

※著作権の関係で、本文は省略させていただいております。

ご覧になりたい方は、本学にお問い合わせください。